

2020年度・令和2年度 自己点検・評価結果

評価対象期間 自：2019年10月1日
至：2020年9月30日

2020年10月

帝京平成大学附属日本語学校

(1) 教育理念・目的・育成人材像に関すること	
1-1. 理念、目的、育成人材像は定められているか	5
1-2. 理念や目的に基づく具体的な取り組みは行われているか	4
<p><現状・具体的な取り組み/課題></p> <p>大学の建学精神「実学」に基づき、日本語学校の教育理念を下記の三つに定め実践するよう努めている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実践的な日本語力の習得を目指す「実学」 2. 国を越えて教えあい学びあう「互学」 3. 夢に向かって学び続ける「向学」 	
(2) 学校運営に関すること	
2-1. 運営方針は定められているか	5
2-2. 事業計画は定められているか	5
2-3. 運営組織や意思決定機能は確立され、効果的なものになっているか	5
2-4. 人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか	5
2-5. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4
2-6. 学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか	5
2-7. 危機管理体制は整備されているか	5
2-8. 施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるよう学校教育法に基づき整備されているか	5
<p><現状・具体的な取り組み/課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務の見直し及び効率的な運営の検討ため校長、教務主任、事務長を含む全職員が参加する運営会議を毎月一回の頻度で開いている。 ・人事給与制度については、設置法人と連携を取りながら、事業計画に基づき実施している。人事考課制度を採用し、学校全体、部署、個人のそれぞれが目標を設定し、自己評価及び上司による評価を経て、昇給昇格等を決定している。仕事に対するモチベーションの維持と業務内容の向上の為、人事考課制度の考え方を明確に教職員に提示している。 ・防火・防災対策として、「危機管理規程」や「防火管理規程」に基づく防災訓練が毎年行われ、災害時における避難誘導、救護措置等の訓練を定期的実施している。また、施設内にある防災センター及び警備室において、消防設備等の監視を行っており、火災や災害時に迅速な対応がとれるよう管理している。災害時の備蓄物資は、学生と教職員分の必要数を確保し不測の事態に備えている。防犯体制については、委託契約を結んだ警備会社による常駐警備と機械警備システムにより校内の安全対策を図っている。 	
(3) 教職員組織に関すること	
3-1. 教育理念・目的が教職員間で共有されているか	5
3-2. 教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか	4
3-3. 教育評価を行っているか	4
<p><現状・具体的な取り組み/課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全職員が毎年新たな事業計画策定に携わることで、理念、目的、目標を共有している。 ・非常勤講師においては採用の際に必ず学校の教育理念・目的を共有し、共鳴して頂いた講師のみを採用している。 ・勉強会、ミーティング、各研修参加等により、教育の質の向上を図っている。 ・教職員評価については、業務目標及び自己啓発目標を4月初めに本人が設定し、年度末に達成状況等自己評価を申告。上司が面談を行い、業務実績・能力・情意について各人の職能等級を加味した評価を行っている。 	
(4) 教育活動に関すること	
4-1. カリキュラムは体系的に編成されているか	4

4-2. 授業評価の実施・評価体制はあるか	4
4-3. 目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか	5
4-4. 成績評価は適切に行われているか	4
4-5. 各種日本語試験の認定率向上のための指導体制は整っているか	5
<ul style="list-style-type: none"> ・新入生は、入学時に必ずプレースメントテストを受け、本人のレベルに合うクラス分けを行っている。 ・試験対策については、選択科目による対策授業を実施している。また日本留学試験対策の補習授業を実施している。 	
(5) 学生支援に関すること	
5-1. 進学・就職指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
5-2. 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
5-3. 学生の心身の健康管理・自己・怪我サポートを担う体制があり、有効に機能しているか	5
5-4. 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	3
5-5. 保護者と適切に連携しているか	4
5-6. 卒業生への支援体制はあるか	3
<ul style="list-style-type: none"> ・帝京大学及び帝京平成大学への進学推薦制度に加え、それ以外の大学、大学院、専門学校への進学指導も行っている。指導担当者が進学者全員を対象に進学説明会と個別面談を行い、個々の希望に沿った進路指導を行っている。またオンラインで進学相談会情報や大学在学中の留学生から母国語で経験談を聞く機会を設けた（8月）。 ・今年度はコロナウイルスの影響により当初予定していた4月ではなく8月に帝京平成大学池袋キャンパスにて生徒全員が健康診断を受診した。また帝京平成大学が設置した臨床心理センターと整骨院が当校ビル内にあり、学生の怪我および心身の不調に即座に対応する体制が整っている。 ・常に学生の状態を観察し、学生が気楽に悩みを相談できるよう、教職員と話しやすい環境づくりを心掛けている。 ・当校は独自の学生寮を有していないが、入学が決まった学生に寮の希望をヒアリングしたのち、近隣の不動産会社にその要望を伝え、できる限りその要望にこたえられる住居を提供している。問題発生時には、即時に管理会社へ連絡し改善を依頼している。この際も、言語対応可能な事務職員が学生の要望を適切に伝達するよう努めている。 ・生活において何らかの問題が発生した時には、各言語スタッフが保護者に適宜連絡し、連携しながら問題解決を図っている。また、紹介機関との協力体制も整っている。 	
(6) 在留管理及び生活指導に関すること	
6-1. 入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか	5
6-2. 日本社会を理解するための支援が適切に行われているか	5
6-3. 我が国の法令を遵守させる指導を行っているか	5
6-4. 常に最新の学生情報を把握しているか	5
<ul style="list-style-type: none"> ・入学時、アルバイト開始時、ビザ更新時等にオリエンテーションを実施し、留学生活において必要な知識・手続きについての説明を行い、指導をしている。必要に応じて母国語または共通語の資料・通訳を手配し学生が十分に理解できるよう努めている。 ・複数の入管業務申請取次者配置している。所管警察署との連携による安全・防犯教育を実施した（5月）。 	
(7) 学生の募集と受け入れに関すること	
7-1. 学生の受入方針は定められているか	4
7-2. 学生募集活動は、適正に行われているか	4
7-3. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
7-4. 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	5
7-5. 適正な定員設定及び在籍者数になっているか	5
<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集については、信用ある紹介機関と提携している。紹介機関については、現地事務所を訪問し、責任者と互いの教育理念・目的を確認し、理念の共通する機関とのみ契約書を交わし提携している。また学校の教育理念を理解し、 	

<p>勉学意欲が強く、日本語学習に対して明確な目標を持つ学生を受け入れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生選考は直接面接やオンライン面接を行い、申請者から提出された書類は、公正かつ適正に審査し、手続を行っている。学生募集は、認可された定員の中で適正に行われ、在籍数も定員内である。 	
(8) 財務に関すること	
8-1. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	5
8-2. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
8-3. 財務について会計監査が適正に行われているか	5
8-4. 財務情報公開の体制整備はできているか	4
<p>帝京大学グループ校として、中長期的な財務基盤は安定したものとして確立している。新年度の予算・収支計画については、理事会・評議会の場で審議され承認を受けている。決算においては、適正な会計処理を行い、会計監査を受け、理事会・評議会に報告がなされ承認されている。</p>	
(9) 法令遵守に関すること	
9-1. 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
9-2. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	5
9-3. 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	5
9-4. 自己点検・自己評価結果を公開しているか	4
9-5. 関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか	5
<ul style="list-style-type: none"> ・各種学校の日本語学校として、東京都、法務省の法令および設置基準を満たしている。関係省庁への定期報告も遅滞なく行っている。 ・「学校法人帝京平成大学個人情報保護方針」に基づき、保有する個人情報の適正な取扱いとその保護を図ることを目的として定め、個人情報の保護について、教職員に対しては「個人情報保護方針」の学内掲示及び「機密及び個人情報の守秘に関する誓約書」を提出させるなど漏えい防止の徹底を図っている。 ・財団法人日本語教育振興協会の準会員に加盟し、3年後当協会の第三者評価を受ける予定である。 	
(10) 社会貢献に関すること	
10-1. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4
10-2. 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	3
<ul style="list-style-type: none"> ・帝京平成大学に在籍している外国人留学生に対して、日本語学習を支援している。 ・地域のお祭りなど参加予定であったイベントにコロナの影響で参加できていない。事態が改善され次第、積極的に活動・参加を進めていきたい。 	

<総括>

帝京平成大学の附属日本語学校として、適切かつ良質な日本語教育を実施するため、東京都、法務省及び日本語教育振興協会の設置基準を満たすとともに、定期報告を欠かさないよう細心の注意を払っている。

進学指導も、帝京大学への推薦入試をはじめ、他大学や専門学校、大学院など、多種多様なニーズにこたえている。

今後も学生からの更なる満足度を高めるため、教職員の研修、受入体制の整備に向け尽力する。また、学生の増加による業務の多様化に対応するため、業務のICT化を進め、教育・学生管理・学校運営の効率化を進めることが今後の課題となる。

- 5 : 十分に達成されている。
- 4 : ほぼ達成されている。
- 3 : どちらともいえない。
- 2 : 不十分な点が多く、今後、改善に取り組む必要がある。
- 1 : 未達成のため、早急に改善が必要である。